発行日／令和2年3月24日　発行者／江別市生涯学習推進協議会　編　集／広報委員会　連絡先／江別市教育委員会生涯学習課　〒067-0074　高砂町24-6　電話011-381-1062　FAX 011-382-3434　HPアドレスhttp://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会／

生涯学習情報誌
Life Long Learning
S・S・S
第91号

支援事業終了報告

第四十八回 江別消費者大会を終えて

江別消費者協会　塩越　康晴

江別消費者協会では、毎年その時々の消費者問題解決の一助とするため、市民と共に考える場として消費者大会を開催しています。今年の消費者大会は、当協会が創立五十周年の節目の年に当たるため、記念事業として江別市在住で二〇一〇年にノーベル化学賞を受賞した、北海道大学名誉教授、鈴木　章先生をお迎えして記念講演会を開催しました。「ノーベル化学賞への道～私のこども時代」をテーマに、先生の幼少期はどのように勉強をして、ノーベル化学賞を受賞するに至ったのかなどについてご講演をいただきました。先生の幼少期は戦争中であったこと、勉強では算数と読書が好きだったこと、また、発見した鈴木カップリング反応を用いて血圧を下げる薬やガンの治療薬、液晶パネルやスマホの有機EL画面などが作られ、暮らしに役に立っていることなどのお話をいただきました。講演の中で「研究において失敗はあたりまえで、成功は例外中の例外である」とのお話が特に印象に残りました。

参加者は百五十名と非常に多く、皆様から分かりやすく満足しましたとの感想が寄せられ、主催者としても満足な講演会でした。ご講演をいただきました鈴木章先生、並びにご支援いただきました江別市生涯学習推進協議会に心より御礼申し上げます。

こねっと十五周年記念フェスティバル

子ども文化ネットワーク・江別　髙木　玲子

子どもたちの笑顔と共に活動して十五年、絵本作家の講演会や絵本フェスティバルなど、毎年工夫を重ねて取り組んできました。

今回は十五周年を記念し、江別市生涯学習推進協議会の支援をいただき、札幌大谷大学短期大学部保育科の学生さんと一緒に「人形劇」と「にこにこ音楽隊」「絵本の読み聞かせ」を開催。子育て中の親子や豊かな心の大人も一つになって楽しみました。子どもたちは大きな人形に驚いたり、音楽隊と一緒になって踊ったり、微笑ましい姿に会場もほっこり。

今、人とのかかわりの希薄化や社会的孤立など、人とつながることの難しさも感じられる中、たくさんの方々の協力のもと、皆で楽しさを共有できたことは活動の力になりました。また、出演していただいた学生さんも多くのことを学んだことでしょう。

子どもを支えるネットワークの輪がさらに広がりますように努力していきたいと思います。

語る！つなぐ！スーパープレゼンテーション二〇一九

江別創造舎　田口　智子

江別創造舎は、二〇〇七年に発足し、江別カルタ制作をはじめ地域文化振興活動に地道に取り組んでおります。本年度は、「語る！つなぐ！スーパープレゼンテーション二〇一九」と題し、十二月一日（日）野幌公民館にて講演会を開催。講師には、北海道開拓百年記念塔および江別市役所他多数の建造物やモニュメントを設計・建築された井口健氏をお招きし、「北海道開拓百年記念塔のつぶやきーモニュメント創作に込めた想い…」と題して開催しました。

北海道開拓百年記念塔は優れた素材と技術で設計・建築され、百年を見越して評価された建造物です。コンペ当時の佐藤審査委員は、「北海道自然の大地の揺るぎない交響曲である」と評した程です。井口氏は、当時の設計図を披露されながらご講話され、この百年記念塔を「まだ未完成である。シューベルト未完成交響曲を、ベートーベンの第九、歓喜の歌のように完成させたい」と芸術家として繊細な表現で講演を締め括られました。

皆様、ご聴講ありがとうございました。江別創造舎を今後ともよろしくお願いいたします。

江別生涯学習インストラクターの会 十周年記念事業 桜木紫乃　トークライブ

江別生涯学習インストラクターの会　松山　和子

令和二年二月二十二日（土）えぽあホールにて、当会の十周年記念事業「桜木紫乃トークライブ」が開催されました。江別在住の直木賞作家である桜木紫乃さんについて、作品に触れることはあっても桜木さんはどんな方？と思うことがありました。

そんな中、「十周年記念事業」として「桜木さんにお話をしてもらおう」という提案が一年前に出ました。えぽあホールが空いている土日があるのか、桜木さんのスケジュールに空きはあるのか、全てが手探りのなか一年をかけて少しずつ道が開き、当日を迎えることができました。

黒地に白い牡丹のお着物と対の帯で素敵な桜木さんと、トークライブには必ず帯同されるFMくしろのパーソナリティ大津桃子さんが舞台に登場すると一気に舞台は「桜木ワールド」へ。イオンで結い上げた髪、近所の三浦さんに着付けてもらった着物、江別は良いところだという展開から江別という街の話、そして編集者とのやり取りから生まれる作品とその関係などを話されました。北海道新聞に掲載された「緋の河」の話から新作の話まで、時にはしっかりと時にはつい笑ってしまうエピソードを交えながら、最後にはチケットの半券でサインが本がプレゼントされるという展開に満席の会場は大盛況で、終始桜木さんに魅了されていました。

当会の運営委員会だけでは難しい担当業務をボランティアとしてお手伝いしてくださった皆様、無の状態からポスター・チラシの作成などを担ってくださった皆様、たくさんの方々のご協力と江別市生涯学習推進協議会からの事業支援をいただいたことで実現できた事業となりました。えぽあホールをはじめご協力いただいた関係機関、参加された皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

発行日／令和2年3月24日　発行者／江別市生涯学習推進協議会　編　集／広報委員会　連絡先／江別市教育委員会生涯学習課　〒067-0074　高砂町24-6　電話011-381-1062　FAX 011-382-3434　HPアドレスhttp://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会／

【会員の活動紹介】江別市菊友会

松下　公洋

＊菊の歴史少々

菊は、奈良時代の中期に薬用植物として入ってきた中国原産の花です。平安時代は高貴な花として貴族や武士により作られていました。菊作りが大きく開花したのは江戸中期で、一般庶民の間でも盛んに作られ、現在の型が確立しました。明治の中期には各地に菊花会ができ、さらに発展して今に至ります。

＊設立趣旨／活動内容

江別市における菊作りは、大正六年江別町の頃、町内の諸氏により十六花会が設立され、菊花鑑賞会などをして楽しんでいたようです。

昭和二十六年に現在の王子製紙の前身である北日本製紙の社員が中心となり「菊友会」を創立。以後全市民に広まり、昭和三十四年教育団体と認められ、教育委員会に登録することとなり「江別市菊友会」と名称を変更し、仲間同士の交流、栽培技術の情報交換、市民への菊作り講習会を行ったりしながら今年で創立七十周年を迎えます。年間の活動としては、十一月の文化の日に併せて行われる江別市文化協会主催の文化祭の一環としてコミセンでの菊花展開催、五月には初心者講習会の開催、年間八回の会員研修会の開催を実施しています。

＊団体のPR

当菊友会は、江別市の花「菊」を通して会員間の親睦を図り、菊花展に来場された市民との交流により菊作りの楽しさを理解いただき、菊作りを普及することを目的として活動しています。菊作りは五月に十センチメートル位の苗を育てて、十月には百五十センチメートル位に生長し、花も直径が十～十五センチメートルの大きく立派な花が咲き感動します。そして来年は今年より立派な花を咲かせてみようという気持ちになります。皆様も是非、菊作りを始めてみませんか？広報えべつ五月号に募集要項を記載する予定です。ご一報いただければ親切丁寧にご指導いたします。

【会員の活動紹介】NPO法人えべつ協働ねっとわーく

成田　裕之

NPO法人えべつ協働ねっとわーくは、二〇〇四年に江別市内五十三団体が『えべつ市民活動・協働ネットワーク懇談会』を設立したことから始まりました。その中で、市民・市民活動団体・企業・行政が連携を図るため交流し、ネットワークづくりを行う市民活動センターが必要との共通認識のもと、二〇〇五年に市民と行政の協働により、センターの設立を図る旨の「設立に関する提言書」を市長に提出。二〇〇六年の四月に市民活動センターの運営母体となる当法人が設立され、同年九月に市民活動センターが開設されました。

二〇一二年に土地区画整理事業によりイオンタウンへ移転し、昨年十二月には市民交流施設「ぷらっと」へ移転しました。

当法人は、会議室や印刷機の貸し出しなどを行う市民活動センターの運営のほか、江別のご当地検定である「江別まち検定」の開催、ズンバやフラダンスなどの自主講座運営も行っています。

「ぷらっと」移転以降は、情報図書館の図書貸出（インターネット予約）・返却、観光案内所の運営も行っています。

協働のまちづくりに関する事業として、市民活動団体の連携や情報発信などのセミナーやワークショップ、小中学生への協働のまちづくりの啓発などの事業を行うほか、商店街の活性化事業、児童会への出前環境学校、江別市内の四大学の学生が江別を含む八市町で地域活動をするコーディネートを行う「ジモ×カク」の事業など、江別のまちづくりにおける多彩な事業を展開しています。

今後は、江別の顔づくり事業の中核である「ぷらっと」で、今まで以上に市民活動や観光の情報の受発信、市民活動団体の中間支援団体として、江別のまちづくりの発展に寄与していきます。

これからのイベント

◆江別市女性団体協議会
（連絡先／鈴木：011-385-3152）

○第42回えべつ女性協まつり

日　時／令和2年7月5日(日)
9:30開場　10:00開演

場　所／江別市民会館　大ホール

参加費／小・中学生 100円　大人 500円

地域のサークル・団体の日頃の練習の成果を発表する場とし、交流を深めます。

フラダンス・コーラス・舞踊・カラオケ
太極拳・ヒップホップ・剣詩舞
器楽演奏・中国武術など。

手話をまなぼう「ブロッコリー」

「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただくと、手話の動画がご覧になれます。今回は食べ物の手話です。

まなぼう Vol.8

江別市高齢者クラブ連合会

江別市高齢者クラブ連合会は、昭和三十九年創立以来「仲間づくり、健康づくり、地域づくり」をモットーに、地域を基盤として自主的な活動に取組んでいます。現在、連合会には六十五クラブ、三千五百人が結集しています。

趣味やスポーツ、社会奉仕活動などが健康長寿の秘訣です。未加入の方、ぜひ会員になりませんか。

《編集後記》

待ちに待ったオリンピックイヤーの幕開けです。まさか五十六年後、東京でまたオリンピックが開催されるとは…北海道でのマラソン・競歩会場は意外でした。この機会に日本は世界に何をアピールできるでしょうか？ワン・チーム・ジャパン！

広報委員長　西懸　昭子